

5月30日 CVV 定例会議事要旨(案)

日時：2023年5月30日(火) 午後5時半から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者(順不同・敬称略)：28名(会員・会友 リモート参加を含む)

古田・川谷・野坂・清水・祝・鈴木・夏秋・吉岡・田中・石原・武・今岡・下土居・南荘
荒武・栗田・大井・齋木・先本・友廣・古川・宇野・神吉・河野・高田・武内・原・黒山
オブザーバー参加：地盤工学会関西支部 松永氏、小瀬川氏、小柳氏

土木学会成熟シビル小委員会幹事長 澁谷氏

<配布資料>

- ① 3月9日定例会議事要旨(黒山)
- ② 第14回若手セミナー開催素案(地盤工学会関西支部)
- ③ 西宮市都市局打合せ議事録メモ(夏秋)
- ④ 技術継承「シビルアカデミーとの意見交換会」(吉岡)
- ⑤ CVV×成熟シビル小委員会について(澁谷氏)
- ⑥ 2023年度選奨土木遺産調査(案)(南荘、栗田)
- ⑦ CVVいきいき活動と湊川隧道部とのコラボ関連打合せメモ(鈴木)
- ⑧ CVVいきいき活動(学童支援)に係る活動状況と当面の予定(鈴木)
- ⑨ CVVのあゆみ(祝)
- ⑩ 会計幹事よりのお願い(石原)

<主な議事>

総会終了後定例会を開催し、黒山が資料確認した。その後川谷幹事長から前回定例会の議事内容が確認された。(資料①)

1. 地盤工学会関西支部幹事の松永氏、小瀬川氏から今年度の「若手セミナー」の企画案が説明された。
(資料②)
 - ✓ 講師の発表時間が二人で30分では短いので、時間配分は再調整いただきたい。(川谷)
2. 西宮市都市局と打合せした内容が報告された。(夏秋 資料③)
3. 技術継承の取り組みに関して実施した「シビルアカデミーとの意見交換会」の内容が紹介された。
(吉岡 資料④)
 - ✓ 今後も継続的に協力関係を築くなら、グループ討議の各班に一名 CVV メンバーが入ってもよいかもしい。 (川谷)。
4. 土木学会本部の委員会「成熟シビル小委員会」澁谷幹事長から小委員会と CVV との交流について、提案・依頼された。また、小委員会の活動内容も併せて紹介された。(澁谷氏 資料⑤)
 - ✓ Note の記事執筆は小委員会側か。(川谷)
→当方で執筆したもので内容確認いただきたい。小委員会と CVV とのコラボ企画については関西在住が一人なのでオンラインも活用して協議の場を設け、実現していきたい。
5. 今年度の土木遺産調査企画(現地見学会、有識者との懇談)について説明された。また、奈良市内の調査計画も併せて説明された。(南荘 資料⑥)
6. いきいき活動の今後の取り組み方針(CVVいきいき活動と湊川隧道部とのコラボ関連、学童支援に

係る活動状況と今年の予定)が報告された。(鈴木 資料⑦、⑧)

- ✓ 花のフェスタで神戸市が使用していた機材(アーチ橋やトラス模型など)は当面本四高速の倉庫で保管されることになった。CVVが独自にこの資材を活用してイベントを実施するのは無理がある。(川谷)
 - ✓ 今年のこどもフェスタを見学して今後の対応を検討していきたい。湊川隧道部の活動は多岐にわたるのでコラボ企画についても今後協議していきたい。(鈴木)
 - ✓ いきいき活動の今年の実施日のうち、7月29日と8月26日の担当者を決めたい。(鈴木)
→7月29日は南荘・下土居・武内会員、8月26日は吉岡会員と黒山が担当することになった。
7. HPに掲載されているCVVのあゆみの更新・追加原案を作成したので点検いただきたい。修正後HPに掲載する予定。(祝 資料⑨)
8. 新会員も増えたので会計に関する事務手続き等について会計担当から説明された。(石原 資料⑩)
- ✓ 前畑氏への講演謝礼はどの費目か。今年も講演を依頼したい方がいるので確認した。(栗田)
→会場費である。(石原)
9. その他
- ✓ 前回定例会においてREIM産学連携コンソーシアム構想等の協力要請された舞鶴高専への対応は先本会員が窓口となることになった。
 - ✓ 「土木の学校」運営委員会が5月16日にあり、橋梁模型コンテストの実施日は11月18日(土)に決定した。(川谷)
 - ✓ 次回は7月12日(水)17時半から開催する。

文責：黒山